

すわみつえ通信

No.146 2020年10月26日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諏訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

笠原小学校存続のための2つの署名が大きく広がっています！

鴻巣市・埼玉県そして
全国から賛同の声

「笠原小学校を守り育てる会」が、市内外の団体・個人とともに取り組み始めた『笠原小学校存続のための請願署名(鴻巣市議会議員長宛)』と『要望署名(鴻巣市長宛)』は、多くの方から賛同をいただき、広がっています。

「歩いて通える小学校が子どもたちのために必要」「人数が少なくてできない授業があるとすれば、近隣の学校と交流授業を行うなど工夫すればいい」などのご意見が届いています。署名用紙がお手元ない方は是非一報をください。お届け致します。

なお、市長宛の『要望署名』はインターネットにて署名ができます。



●広報かがやき10月号掲載の「『特集』未来を担う子どもたちのためにできること」

表紙を開くと2ページと3ページに
なり、市教育委員会が2015年に策定

した「小・中学校の適正規模及び適正配置」の説明が掲載されていました。少子化で児童生徒の人数が減っているため、学校の小規模化が進むため教育の充実を図るという内容です。

先進国の中で遅れている
日本の学級編制・学校規模

日本は国の学級編制の基準が40人です。文科省の「教育指標の国際比較」(09年)によると米国の学級編制基準は、小学3年までは24人、6年までは29人(ケンタッキー州)、ドイツは小中学校で30人(フランクフルト)、フランスは30人(パリ)などとなっています。日本は先進国の中でも遅れたクラス人数が長年に亘り続いています。

小規模校を残し
少人数学級の実現を

新型コロナウイルス感染予防で教室の子どもたちがソーシャルディスタンスを取るには20人程度の学級編成が望ましいと言われています。鴻巣市が進める適正規模・適正配置の考え方では、コナ下の子どもたちに安心安全の教育環境が守れません。学校統廃合を行えば、統合した学校は大規模校となります。少人数の学級編成・小規模の学校で余裕のある学習の場が

必要です。そのためにも一校たりとも廃校にはできません。

「未来を担う子どもたちのためにできること」それは、少人数学級で一人ひとりに行き届いた教育の実現です。



(写真上)
分散登校のときは、児童は市松模様の配置で座っていた。教室を風が通っていった
＝平塚市立勝原小
6月17日(朝日新聞から)



(写真下)
通常登校になると、37人の机が埋まった
＝平塚市立勝原小
7月2日(朝日新聞から)

俳句コーナー

セミナー 青首大根 一列に

瑠璃子

毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

(月)吹上駅南口 (火)北鴻巣駅東口 (水)北鴻巣駅西口 (木)吹上駅北口 (金)鴻巣駅西口

菅政権の強権政治に 批判の声ひろがる



日本学術会議会員の任命拒否の撤回をもとめる署名が10日間で14万人を超えるなど、違法な人事介入に抗議する声は大きくひろがっています。

日本共産党は、経過の全容解明と6人全員の任命をもとめるとともに、強権的な菅政権を一日もはやく終わらせるため、野党連合政権実現にむけて全力をつくします。

埼玉県日本共産党後援会ニュース「こうりゅう 10月号」

【学術会議任命拒否】他人事でなくなった香港

■「自助・共助・公助」そしてハイジヨ（『朝日・かたえくぼ』）

菅義偉首相が、日本学術会議の新会員候補のうち6人の任命を拒否しました。除外された6人は憲法や歴史学などが専門。安全保障法制や「共謀罪」の制定などを巡り、それぞれ専門的見地から批判または反対していました。「任命拒否、明確な理由の説明必要」（秋田魁新報・社説）とする意見が圧倒的多数ですが、菅首相は「総合的、俯瞰的な活動を確保する観点から判断」と意味不明な答弁を繰り返すばかりです。

■学問の自由（憲法23条）を侵害、被害者は国民全体

今回の事態に、広範な有識者から批判・抗議の声があがっています。

◇戦前の事件を思い起こされる。圧力をかけて直接、学説変更を迫るものでないにしても、学問の自由を脅かすという点で共通する。（水島朝穂・早大教授／10・7「東京」）

◇最近、トランプ米大統領の最高裁判事の指名が問題になっています。構造的には似ています。今後、裁判所の人事などでも同じことをやる可能性は否定できません。菅政権の行く末は非常に不安です。

（小野次郎・元首相秘書官／10・11「しんぶん赤旗」・日曜版）

■ウソがウソを呼ぶ、破綻する首相弁明。野党共闘の鋭い追及

菅首相は10月9日、学術会議の会員推薦名簿を「見ていない」「最終決裁を行った9月28日の直前に拝見。その時点で会員になった方（99人）がリストにあった」と発言しました。しかし、首相が推薦リストを見ていないのであれば、「推薦に基づく任命」（日本学術会議法7条の2）に反する違法行為となります。矛盾を取り繕うように、加藤官房長官は10月12日、6人を除外した起案文書作成前に首相は「考え方」は聞いていたと弁明。これだと、任命権者の首相以外が除外の判断に関与した可能性が生じ、「内閣総理大臣が任命」（前同）に抵触します。



心もカラフル…「免許証写真」福島に「証明専門」写真館開業

運転免許証などに使われる証明写真を手にした時「この写真は他人に見せられないな」と思った経験がある人は多いのではないかと。緊張していたり、不機嫌そうに見えていたり。福島市泉で「ひまわり写真館」を営む吉成洋拍（ひろはく）さん（48）は、そんな悩みを吹き飛ばすような誰かに見せたくなる証明写真を撮っている。

福島市の県立美術館近くの飯坂街道沿いの一角。美容室内を改装した写真館で、吉成さんは客を迎える。ブースには1台のカメラとパソコン、確認用のモニターのみ。「写真を撮るのに場所は関係ない。信頼関係が築ければ、居酒屋で撮ったっていいんだから」と吉成さんは笑う。8月に運転免許証を中心とした証明写真を手掛ける写真館として開業し、評判は上々だ。

吉成さんが撮影する写真は、カラフルなことが一つの特徴。背景はピンクやオレンジ、グレーなどで、写り込んでいる人物は、緊張もなくリラックスしている。

「免許証は、肌身離さず持ち歩く物。持ち歩くなら気分が上がるものがないよね」と吉成さん。客の中には、出来上がった免許証を見せに来てくれる人もいう。「『死んでも免許証は見せない』と言っていたお客さんがうれしそうにお店に来てくれると、こっちもうれしくなります」と吉成さんは手応えを感じている。

写真館を開業する原動力になったのは「人を笑顔にしたい」という思いから。構想3年でカラフルな証明写真にたどり着き、夢は全国の運転免許証をカラフルにすることだ。「免許証をきっかけとして人の笑顔を増やしていきたい」。気軽に免許証を見せ合い、笑顔と会話が弾む人たち。吉成さんはファインダー越しにその光景を想像する。（福島民友新聞社 10月20日付）